



研修センター通信

Vol. 44

平成29年 3月13日

発行：教育研修センター

＜今後の予定＞

3月10日 **提出期限**
症例レポート、自己評価表、EPOC入力

14日
臨床研修管理委員会
2年次修了判定

17日(全員)
研修医症例発表会
(講演：研修医OB、ユニバーサル財団 下園尚志Dr.、研修医発表：丹羽智之Dr.)

18日(全員)
初期研修修了式
藤枝ドクターズクラブ

19日(周Dr.服部Dr.熊谷Dr.)
レジナビフェア春
(東京ビッグサイト)

21日(太田Dr.)
院内感染対策委員会

24日(全員)
保険診療研修会

25日(増田Dr.太田Dr.)
県研修病院合同説明会

※日時はホスター等で再確認してください

※研修医の代表が出席する会議等は、出席後、全研修医に伝達すること

【研修医より】

二年間の初期研修を振り返って

研修医 二年次 福田 彩

以前この通信で“初めまして”のご挨拶をしたのがつい昨日のこのようですが、もう“お世話になりました”の時期だとのこと、改めて時の流れの早さを感じます。

2年間多くの科を回らせていただき、行く先々で日々の診療に心血を注ぎ、生き生きとお仕事をされている先生方との出逢いがありました。「この科もいいな、あの科もいいな」と揺れ動き、専攻がなかなか決められずに悩んだ時期もありましたが、それもこれも目標にしたい素敵な先生方が多すぎたからこそであり、(↑こんな風に書くともまた太鼓持ちの福田と言われてしまいそうですが) 贅沢な悩みだったのだなと感じています。

同期や後輩、コメディカルの方々にも恵まれ、自分が育った町ではありませんが、この2年間で藤枝がもっと好きになりました。医療人のスタート地点としてこの場所を選んで良かったと心から思います。お世話になった皆様方、本当にありがとうございます。

4月からは浜松医療センターで耳鼻咽喉科医として勤務することになりました。期待以上に不安もいっぱいですが精一杯頑張ります。そしていつか、願わくは今よりも少し頼りになる存在として藤枝に戻って来られたらいいなと思っております。



二年間の初期研修を振り返って

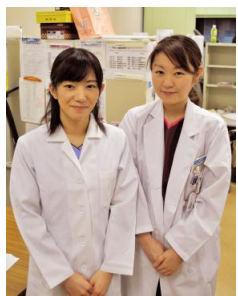
研修医 二年次 前田 流美

研修医生活も、早いもので残り1か月となりました。当初は、医師としての自覚もまだなく、新しい環境、日々の業務に、ただひたすら慣れようと必死な毎日でした。いつの間にか先生と呼ばれることにも慣れ、同時に患者様を診ることに責任を持つこと、一つの命を救うことの重さ、恐怖を感じるようになりました。失敗は許されない環境の中でしたが、指導医の先生方は、自分で考えて行動するまで待つ下さりと、侵襲的な手技なども経験させていただきました。恐怖感と伴に達成感も感じることで自信が付き、少しずつですが成長することができたと思います。患者様も、未熟な私を1人の医師として接して下さいました。厳しいお言葉や「先生また診てね、ありがとうございます。」という身に余るお言葉をいただく度に、真に信頼される医師になるためにもっと勉強してたくさん経験を積もうと強く思いました。また、コメディカルの皆様にもたくさん教わりました。変な質問をしても嫌な顔一つせず丁寧に教えてくださりありがとうございます。

身体が小さく、『大丈夫？食べてる？』『またちいさくなっただ？』と、多くの方々に優しく声をかけていただきました。楽しいことも逃げ出したくなるような辛いこともたくさんあった2年間でしたが、同期の仲間や皆様に支えられここまで来ることができました。

来年度からは、藤枝を離れることとなりますが、身体も医師としても大きくなって帰ってこられるようたくさんご飯を食べて頑張ろうと思えます。1人でも多くの方々の健康を守れるよう、これからも日々精進してまいります。

皆様、2年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。



筆者 左

祝 2年次全員

3月2日 症例レポート 提出完了



提出期限の3月10日まで2年次全員、初期臨床研修の必須項目である全32症例レポートが提出されました。指導医、上級医の先生方についてもお忙しい中、多数のレポート添削ありがとうございます。3月14日の臨床研修管理委員会(拡大版)において、このレポート提出状況に加え、自己評価表、EPOC評価等を総合的に判断し、二年間の初期臨床研修修了の判定が行われます。

